

モデラーデスクラック BHS-1400MR 取扱説明書

※小さなお子様のご使用になる場合は※
保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様に付き添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はデスク上に取り付ける棚、ラックとして使用されることを目的としています。それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BHS-1400MR
外形寸法	幅 140cm × 奥行 30.5cm × 高さ 90.5cm（固定プレート、ペーパーハンガーは含まない）
甲板の表面材	合成樹脂化粧繊維板（メラミン樹脂）、合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）
表面加工	エポキシ樹脂粉体塗装
原産国	中国
耐荷重	総耐荷重28kg（棚板：各3kg、上棚：各5kg）
対応天板	天板厚 18～50mm 取付に必要な天板奥行き 50mm



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 製品の分解や改造、修理は絶対におやめください。思わぬ事故やけがの原因となり大変危険です。
- 本製品の内部または付近で火気を使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 不要になった梱包袋を頭からかぶったりしないでください。窒息など重大な事故につながるおそれがあります。
- 本製品は部屋の出入りを妨げる場所や、緊急時の避難を妨げる場所に設置しないでください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 組み立てのご注意

- 組み立てる前に各部品に不足や不具合がないかご確認ください。不足や不備があった場合はただちに組み立てを中止してください。
- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は周囲に何も無い平らで広い場所で行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ネジ・ボルトの取り付け前に、ネジ・ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ネジ・ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのネジ・ボルトを仮締めし、しっかりと組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりとネジ・ボルトを固定してください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。

⚠ 使用上のご注意

- 全てのパーツは必ず取り付けて使用してください。（化粧シールは除く）
- 本製品は室内用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は品質表示に記載のとおりです。耐荷重以上の荷重は加えないでください。転倒または破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重内であっても、不安定なものや重く尖ったものを上棚や天板の上に置かないでください。落下物によってけがをするおそれがあります。
- 本製品の一箇所に過度な荷重は加えないでください。破損または転倒の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 製品の上段のみに偏って収納しないでください。バランスがくずれて転倒し、けがをするおそれがあります。
- 製品は壁際に設置してください。また地震等で転倒しないよう、必要に応じて壁面に固定する等の対策を行ってください。
- 製品はクランプでデスクに固定してください。やむを得ずクランプが取り付けられない場合は、地震等で転倒しないよう、かならず市販の固定用部材で壁に固定するなどし、地震対策を行ってください。
- 製品は床面が平らで、強度が十分な場所に設置されたデスクの上で使用してください。不安定な場所で使用すると転倒や破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 製品の上に立ち上がったり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 本製品の上に、加熱した鍋や湯沸かし、熱い湯呑などを直接置かないでください。熱いものを置く際は、必ずコースター等をご使用ください。変色や変形の原因となります。
- 濡れたものを載せないでください。破損や劣化、サビ・カビの原因となるおそれがあります。
- 本製品に寄りかかったり、物を立てかけたりしないでください。製品が転倒し、破損やけがをするおそれがあります。
- 強く引っ張ったり、無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 製品に寄りかかったり、ぶら下がったりしないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 長時間同じ場所で使用すると、接地面が変形・変色する場合があります。必要に応じて保護シート等をご使用ください。
- 本製品を移動させる際は、天板や棚中、棚板の上の物を下ろしてください。物を載せたまま移動させると、積載物が落下し、破損またはけがをするおそれがあります。
- 本製品を移動させる際は、大人2人以上で移動させてください。1人で移動させると、思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。
- 棚板に物を載せる場合は棚板からはみ出さないようにしてください。転倒または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 移動をする際は引きずったり、落としたりしないでください。破損や床面に傷がついたり、けがをするおそれがあります。
- 本製品を設置・使用する際は、取り付け先のデスクの耐荷重を超えないよう注意してください。
- 本製品を取り付ける際に、デスクに取り付けられた他のクランプ製品と取り付け方法によっては干渉する場合があります。設置前に問題がないことを確認してから本製品を設置してください。
- 防虫および殺虫剤、消臭剤や除菌剤などは直接製品に散布しないでください。劣化や変色の原因となるおそれがあります。
- 下記のような場所での使用はおやめください。劣化や色あせ、サビ・カビなどが発生するおそれがあります。
 - 直射日光に長時間さらされる場所
 - 冷暖房器具の熱や風が直接あたる場所
 - 高温多湿な場所
- 火気や暖房器具の近くに設置しないでください。やけどや火災が発生する原因となります。

■ メンテナンス・廃棄方法

- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。
- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は直ちに使用を中止してください。
- ボルト・ネジや各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに水分を乾いた布で十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビやカビ、臭気の原因となります。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビ・カビの原因となります。

■ ホルムアルデヒドについて

● ホルムアルデヒドとは

シックハウス症候群を引き起こす原因物質の一つといわれています。常温で気化し、無色で刺激臭があるのが特徴です。主に家具や建材に使用される塗料や接着剤に含まれており、常温で気化するというその性質上、徐々に室内に放散され滞留します。

ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間滞在すると、目・鼻・喉への刺激や、咳やくしゃみといったアレルギー症状が現れることがあります。また、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が高い場合は、呼吸困難等の重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

● 家具を設置する室内の換気について

アレルギー症状を発生しにくくするために、下記に記載する定期的な室内の換気を行ってください。

- ・ 製品の開梱及び組み立ては、風通しの良い十分換気できる部屋で行う。
- ・ 初めて使用になる前に、製品を設置した部屋の換気を十分に行う。
- ・ 製品を設置してからも、部屋を長時間締め切ったままにせず、こまめに部屋の換気を行う。

● 化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドをはじめとする化学物質の許容量には個人差があります。したがって、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が、健康上望ましいとされる濃度値以下の濃度であってもアレルギー症状が現れる可能性があります。

可能な限りホルムアルデヒドの放散が少ない材料を使用しておりますが、全く放散されないわけでありませんので、予めご注意ください。

● アレルギー症状が疑われる場合

何らかのアレルギー症状が起きた際は、すみやかに医師にご相談されることをおすすめします。

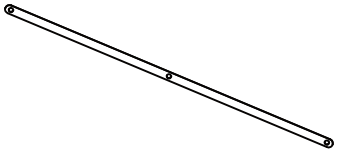
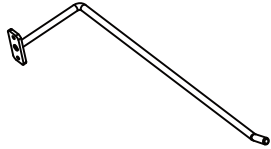
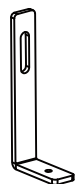
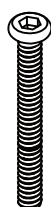
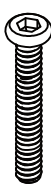
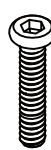
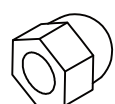
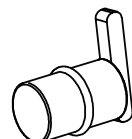
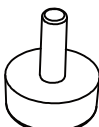
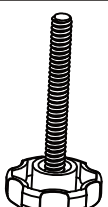
■ 組立前にお読みください

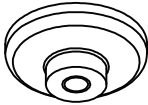
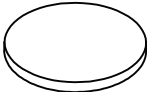
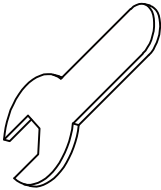


確実な組み立てのため、**ネジ・ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。**
 ネジ穴に正しいネジ・ボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから
 最後にドライバー・レンチでしっかりと増し締めしてください。
 最初にきつくネジ・ボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてネジ・ボルト
 とネジ穴位置が合わなくなることがあります。
 無理な力で斜めにねじ込むとネジ穴がつぶれネジ・ボルトが入らなくなります。
 また、誤ったネジ・ボルトを使用すると製品が破損する場合があります。
※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

■ 部品・付属品

①	天板	②	底板（左）	③	底板（右）
	×2		×1		×1
④	背板	⑤	側板	⑥	中央板(左)
	×2		×2		×1
⑦	中央板(右)	⑧	棚板	⑨	フレーム（左側）
	×1		×6		×2
⑩	フレーム（右側）	⑪	上棚固定フレーム	⑫	フレーム連結パイプ
	×2		×4		×2

⑬	クロスプレート	⑭	ペーパーハンガー	⑮	クランプベース
 ×4		 ×1		 ×4	
A	ボルト (A) M6×50mm	B	ボルト (B) M6×30mm	C	ボルト (C) M6×20mm
 ×8		 ×4		 ×4	
D	ボルト (D) M6×15mm	E	ボルト (E) M6×12mm	F	ネジ (F) M4×5mm
 ×12		 ×10		 ×2	
G	ナット M6	H	カムロックボルト	I	カムロックナット
 ×2		 ×16		 ×16	
J	棚受フック	K	高さ調節ネジ	L	クランプボルト
 ×24		 ×8		 ×4	

M	クランプ皿	N	クッション	O	簡易ドライバー付き六角レンチ 5mm
 ×4		 ×4		 ×1	
P	レンチ サイズ12	Q	化粧シール		
 ×1		 ×20			



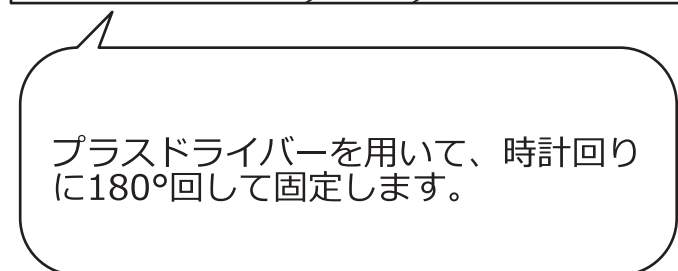
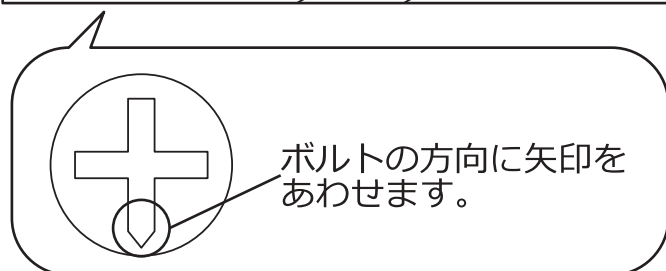
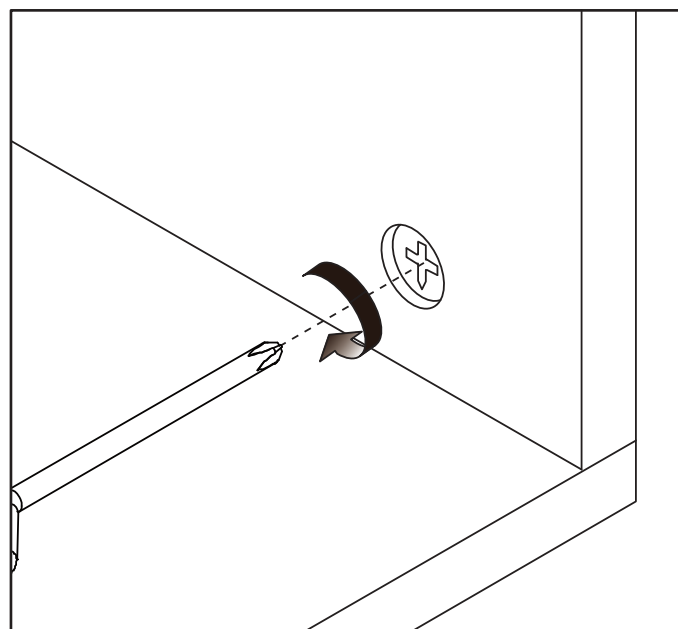
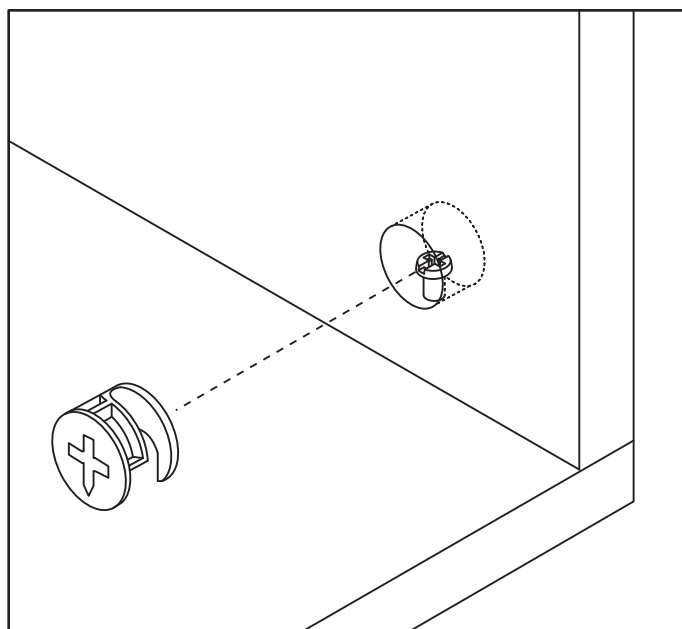
組み立てる前にかならずご確認ください

●パーツに過不足・異常はありませんか？

本製品は構造上、組み立て後に分解しにくい製品です。

かならず、組み立て前にすべてのパーツが過不足なく揃っているか、また全てのパーツに異常がないかを確認してください。万が一過不足や異常が発見された場合は、組み立てを中止し、ページに記載のサポート窓口までお問い合わせください。

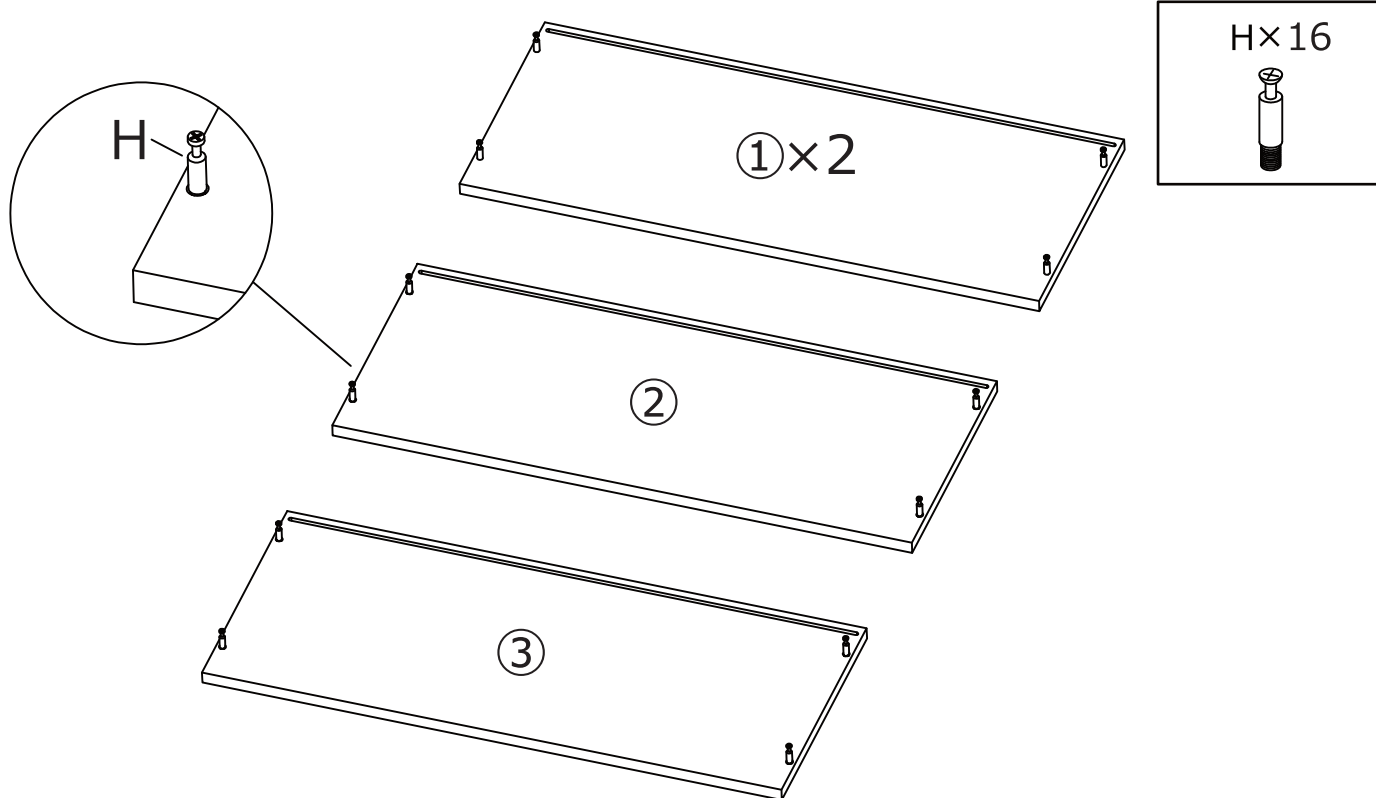
●カムロックの取り付け方法



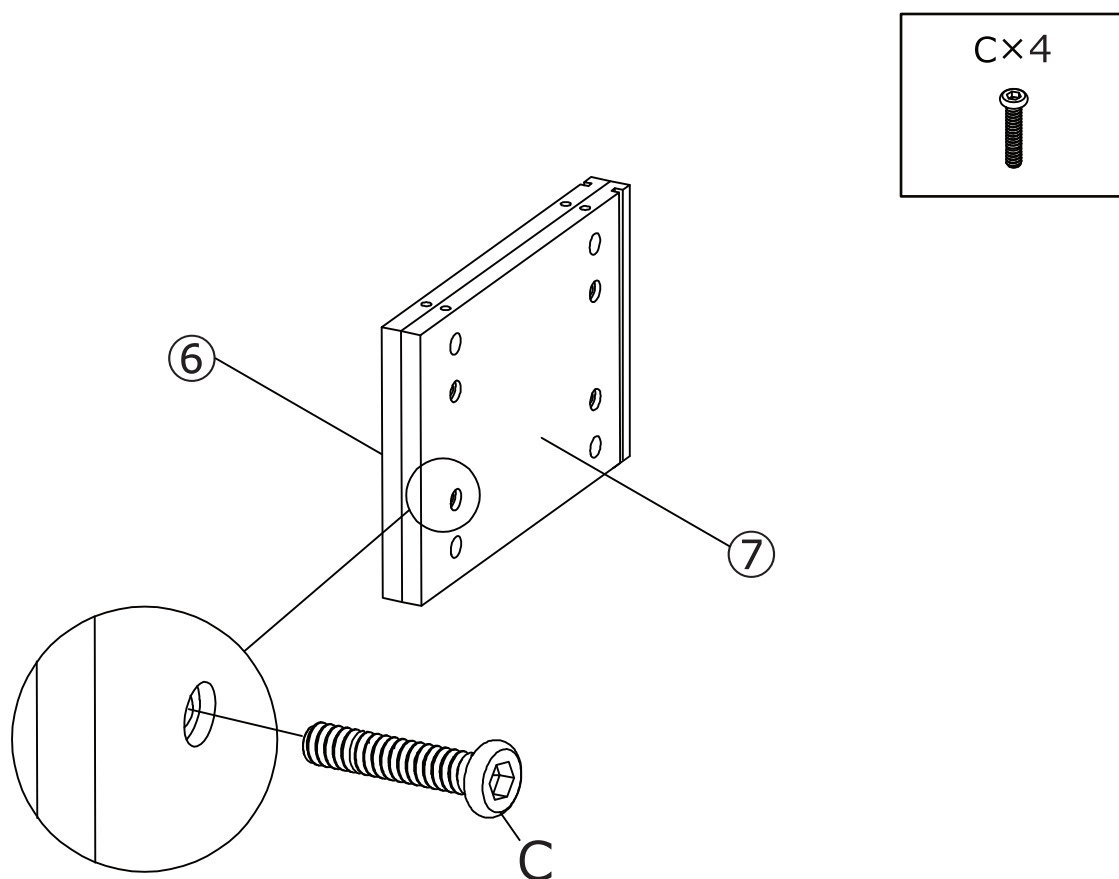
※付属の簡易ドライバー付き六角レンチでも組み立ては可能ですが、別途プラスドライバーをご用意いただいたほうが組み立てしやすいです。

■ 組み立て手順

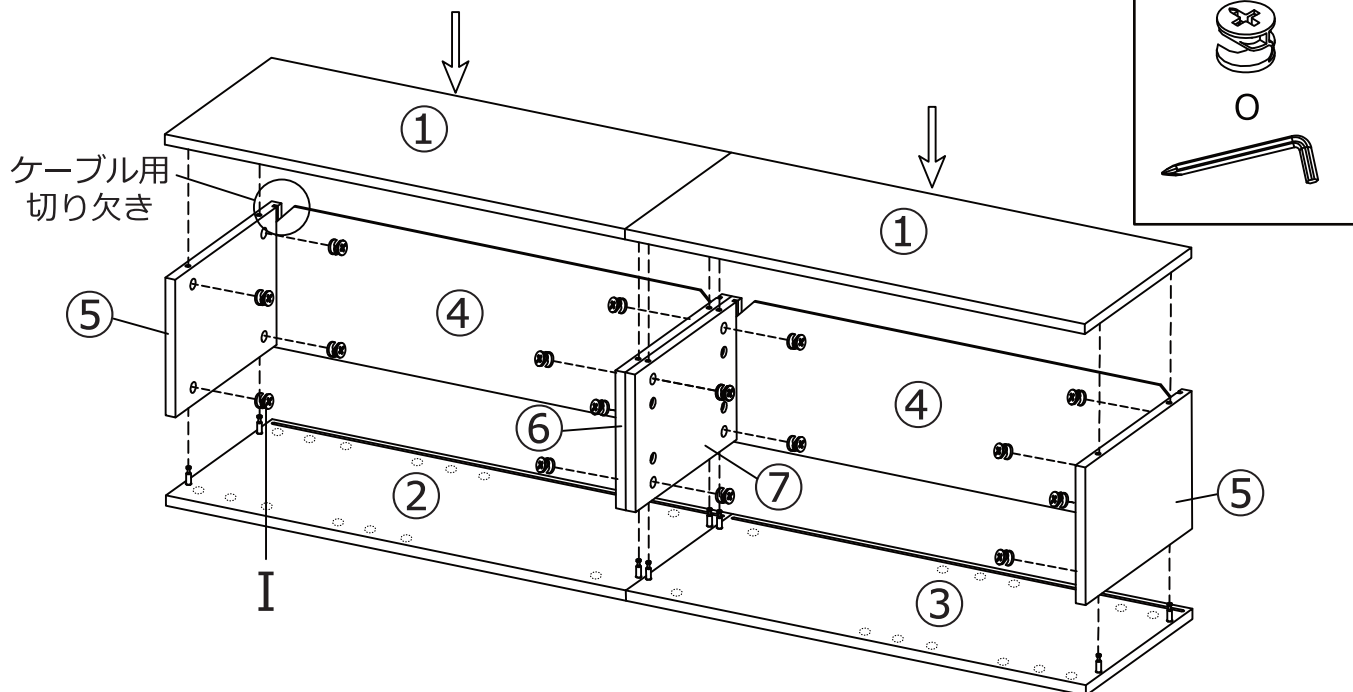
- 1 ①天板と②③底板を裏返して並べ、(H) カムロックボルトを取り付けます。



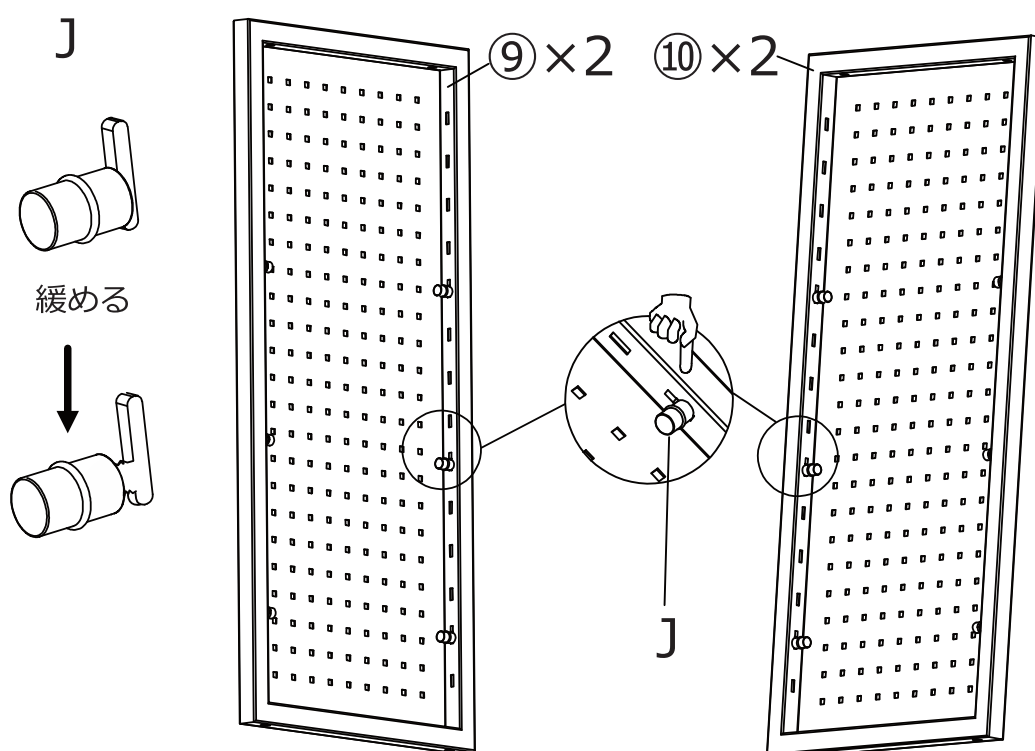
- 2 ⑥⑦中央板を重ねて (C) ボルトで固定します。



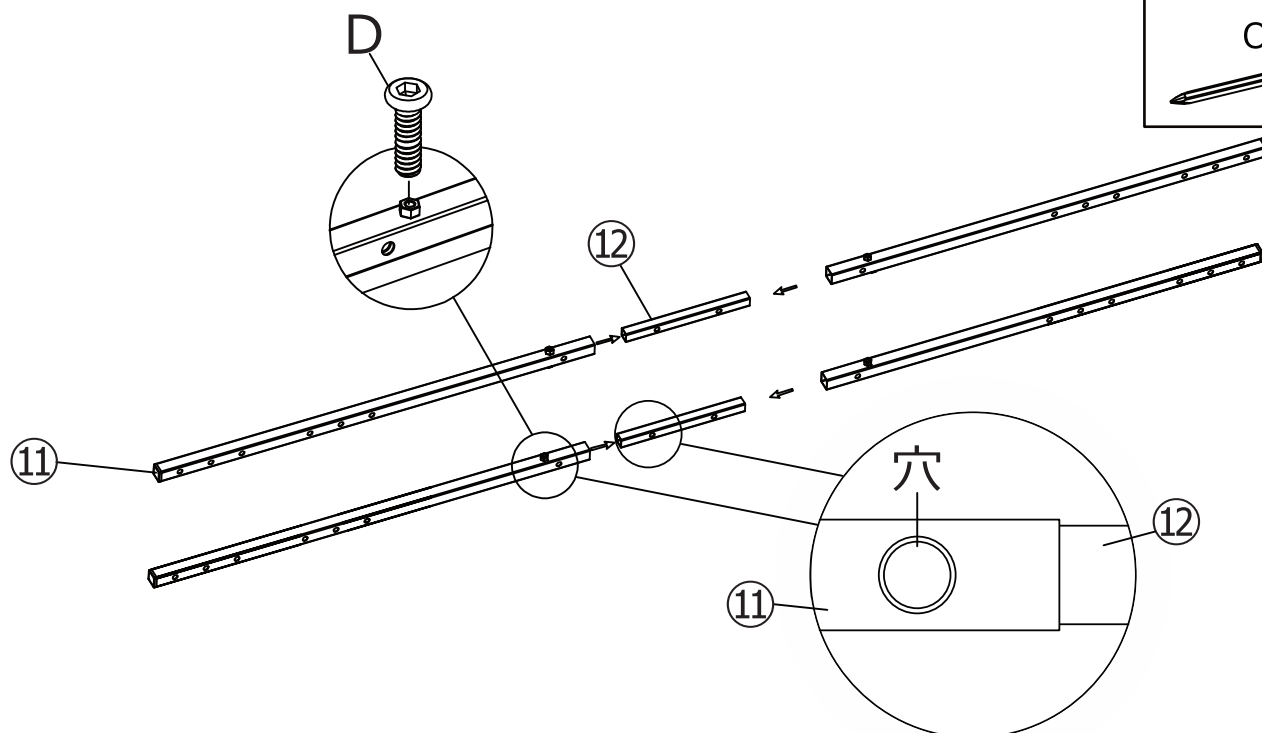
- 3 上棚を組み立てます。②③底板を裏面のボルト穴が多い側が外側になるように置き、⑤側板⑥⑦中央板を差し込んでから (I) カムロックナットを各穴に入れて固定します。次に④背板を各板の溝に合わせるように差し込みます。背板にはケーブル用の切り欠きがあり、上下はお好みで選択してください。最後に①天板を差し込み (I) カムロックナットで固定してください。
※カムロックの取り付け方法はp.6を参照。



- 4 ⑨⑩フレーム×2に (J) 棚受フックを取り付けます。棚受フックの円柱部分を反時計回りに回し緩めてから、フレームのスリットに左右の高さが合うよう注意して取り付けてから、棚受フックの円柱を締めて固定してください。
※組立後でも棚受フックの取付け・場所変更は可能です。
※上から数えて三段目より上に棚板を取り付ける場合、フックが棚板に干渉するため後工程で取り付けてください。

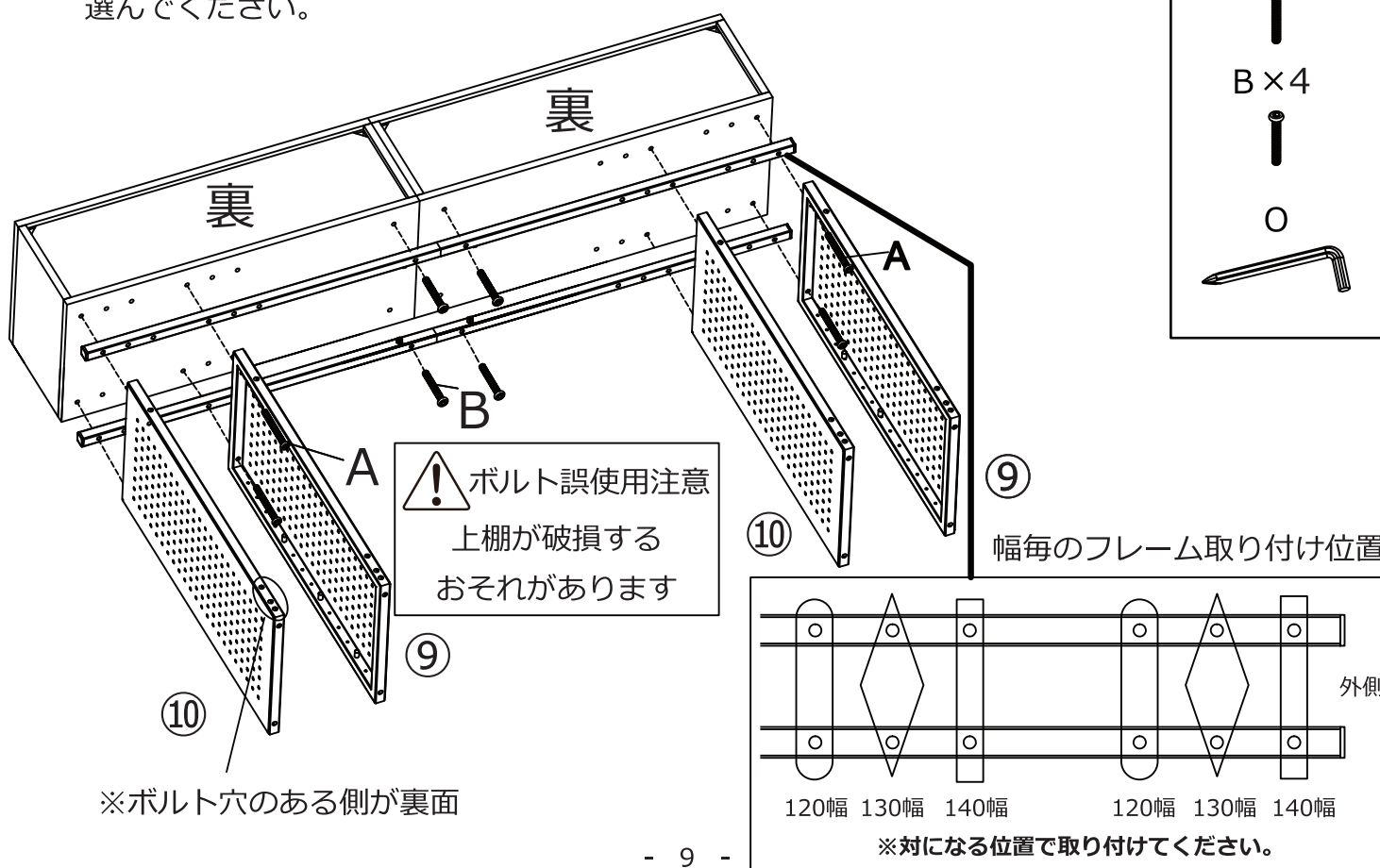


- 5 ⑪上棚固定フレームと⑫フレーム連結パイプを（D）ボルトで固定します。
この際、それぞれの穴が合う位置で固定してください。

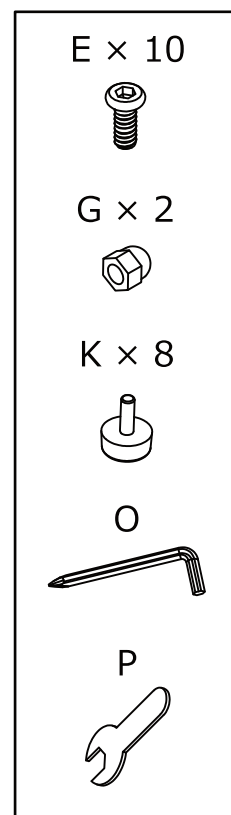
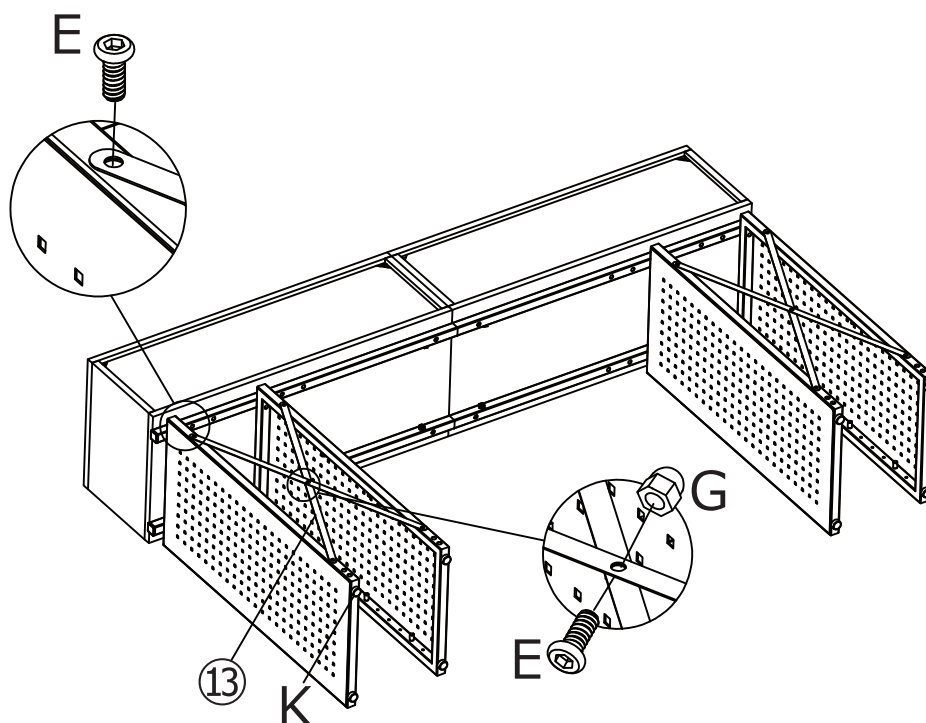


⑪に⑫を差し込んだ状態の図

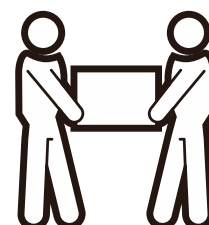
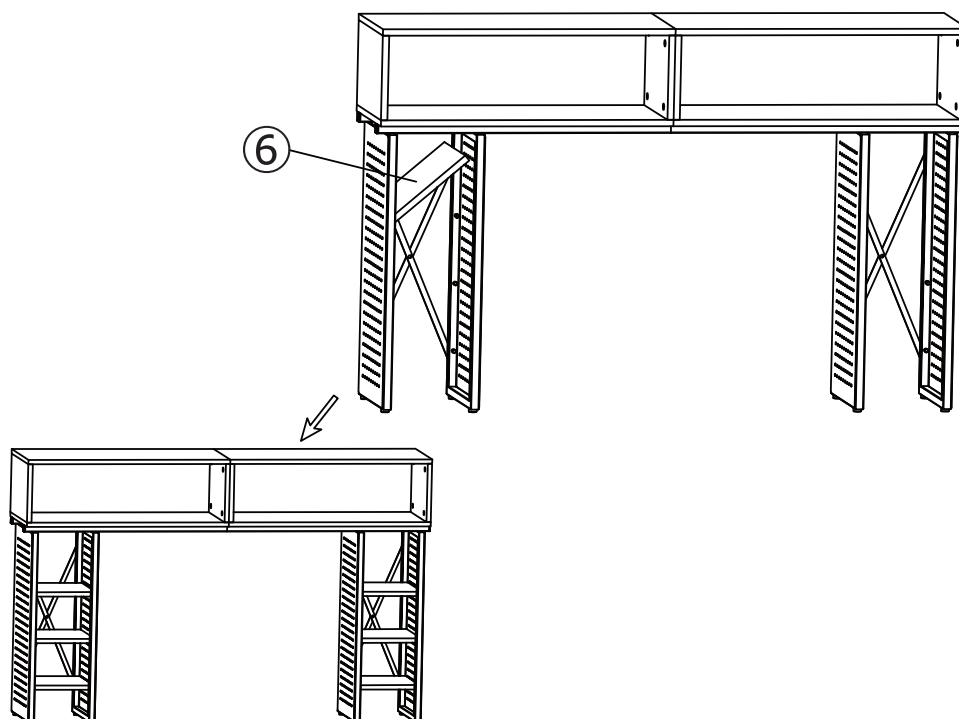
- 6 3 4 5 で組み立てた各部を（A）（B）ボルトで固定します。
※誤ったボルトを使用すると製品が破損するおそれがあります。
取り付けるデスクの幅に合わせて（A）ボルトの取り付け位置を下図を参考に
選んでください。



- 7 ⑬クロスプレートを(E) ボルトでフレームに取り付けます。プレートが交差する場所を(E) ボルト (G) ナットで固定してください。次に (K) 高さ調節ネジを底部に取り付けてください。

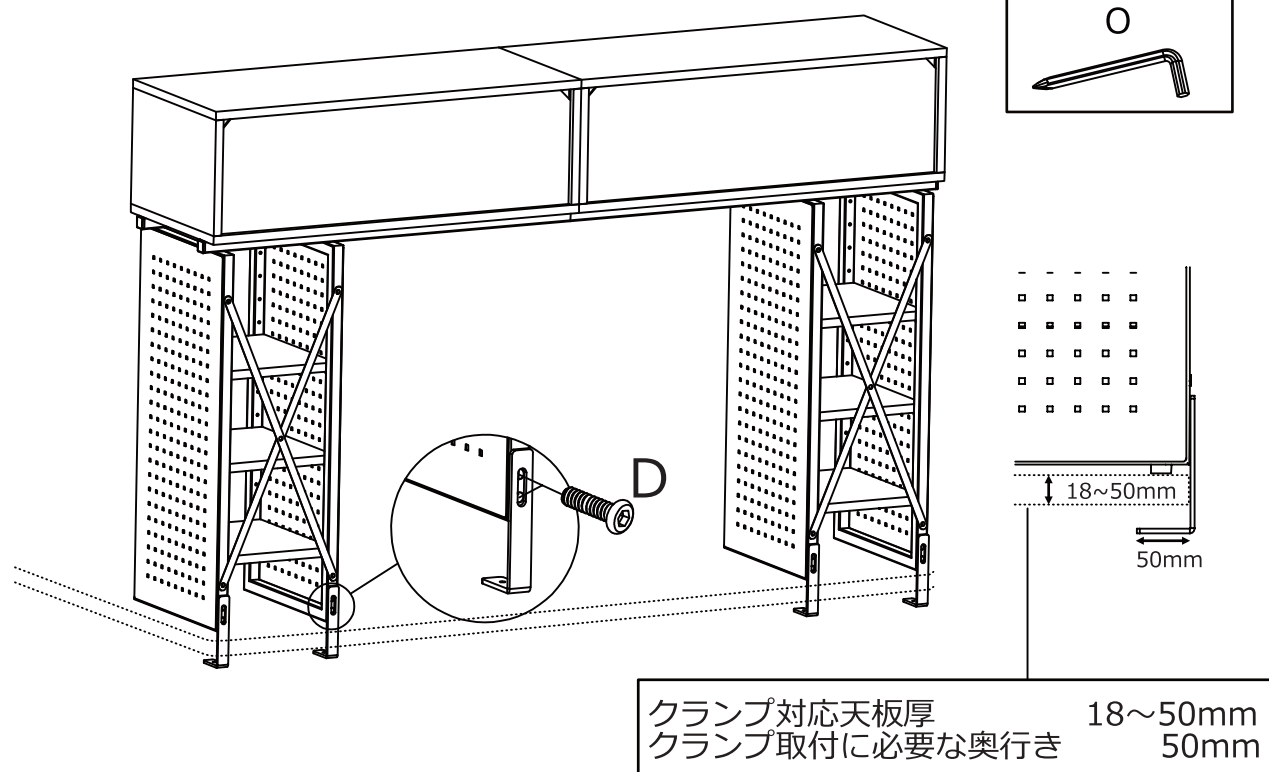


- 8 本体を起こしてデスクの上に置きます。この際、必ず二人以上で持ち上げてください。デスクの上に設置後、⑥棚板を設置してください。
※本製品をデスクに置く前に、デスクが安定して自立していること、天板が斜めに傾いていないこと、デスク上にあるものが取り除かれていること、デスクの各部ネジ・ボルトに緩みがなく、強度に問題がないことを確認してください。
※上から数えて三段目より上に棚板を取り付ける場合、棚受フックを取り付ける前に棚板を先にフレーム間に入れて、手で棚板を上側に固定しながら棚受フックを取り付けてください。



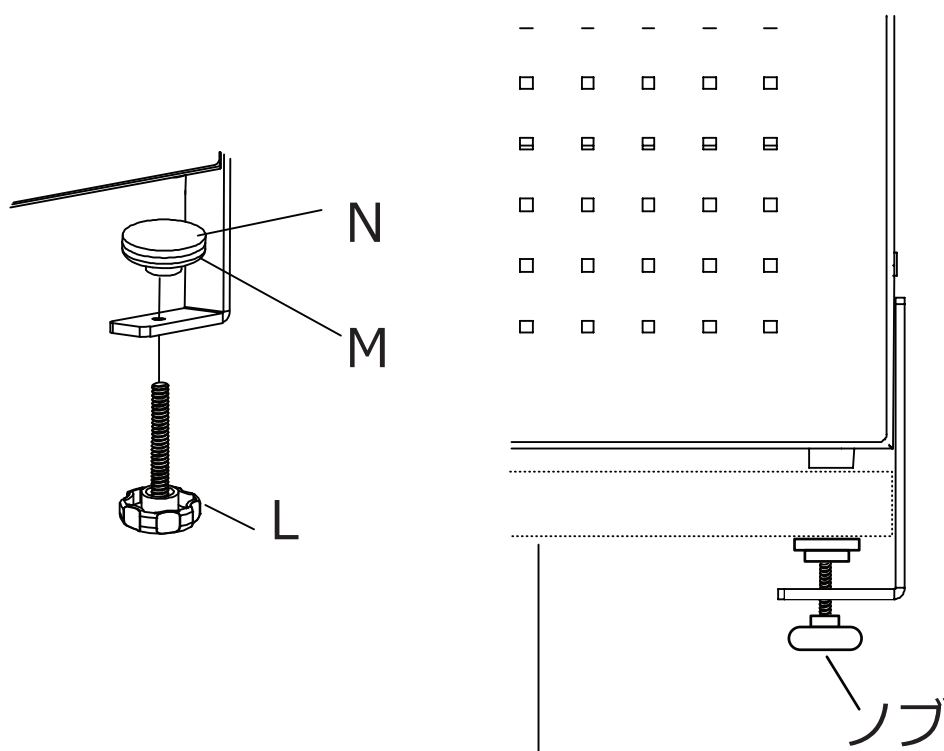
9

⑮クランプベースを（D）ボルトで取り付けます。
 ※クランプが取付可能な天板厚は18~50mmです。お使いのデスクに取り付けられない場合は、壁に本製品を固定するなど必ず転倒対策を行ってください。



10

（M）クランプ皿に（N）クッションを貼り、⑮クランプベースに（L）クランプボルトを取り付けてからクランプボルトにクランプ皿をねじこみ、ノブを反時計方向に回して製品をデスク天板にしっかりと固定してください。



- 11 (Q) 化粧シールを上棚内側のカムロックナットやボルトの上に貼り、⑭ペーパーハンガーを
(F) ネジで好みの位置に固定すれば完成です。

